



# 2019年3月期 第1四半期決算報告

2018年8月7日

- 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、今後様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく異なる場合があることをご承知おきください
- 本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨ててあります

## 2019年3月期 Q1実績

- Q1営業利益は190億円と計画を上回って進捗
- デジタルカメラの高付加価値シフト継続、高収益のFPD露光装置の平均価格上昇などにより、前年比減収ながら66億円増益

## 2019年3月期 見通し

- Q1実績を踏まえ上期営業利益を250億円から270億円に上方修正
- 通期の営業利益を700億円から740億円（前年比32%増）へ  
当期利益を500億円から530億円（前年比53%増）へ上方修正
- 固定費削減等の収益構造強化が進み、ROEは9%程度まで改善
- 年間配当金は前期比18円増配の54円、中間配当金は27円を予定

## 主要事業の 今後の展望

- 映像事業：2期続く増益を来期以降も継続させる為、新マウント採用のフルサイズミラーレスカメラと専用レンズを投入
- FPD装置事業：精機事業の2期連続最高益を牽引した8世代以下は調整局面に入るが、10.5世代は来期・再来期20台以上を販売
- 半導体装置事業：事業戦略転換で来期以降も安定的に収益改善3年以内に資本コストを上回る収益性を目指す

# 2019年3月期 Q1：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
<b>売上収益</b>	1,703	<b>1,669</b>	▲34
<b>営業利益</b>	124	<b>190</b>	+66
売上収益比	7.3%	<b>11.4%</b>	
<b>税引前利益</b>	131	<b>219</b>	+88
売上収益比	7.7%	<b>13.1%</b>	
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	88	<b>163</b>	+75
売上収益比	5.2%	<b>9.8%</b>	
<b>FCF</b>	▲97	<b>276</b>	+373
為替：USドル ユーロ	111円	<b>109円</b>	売上収益への影響 +11
	122円	<b>130円</b>	営業利益への影響 ▲2

Q1実績は計画を上回って進捗、上期・通期の利益見通しを上方修正

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除

# 2019年3月期 Q1：セグメント別業績



単位：億円		18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
映像事業	売上収益	909	<b>791</b>	▲13%
	営業利益	76	<b>124</b>	+48億円
精機事業	売上収益	552	<b>590</b>	+7%
	営業利益	131	<b>141</b>	+10億円
ヘルスケア事業	売上収益	110	<b>133</b>	+21%
	営業利益	▲20	<b>▲21</b>	▲1億円
産業機器・その他	売上収益	131	<b>154</b>	+18%
	営業利益	▲6	<b>11</b>	+17億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—
	営業利益	▲57	<b>▲65</b>	▲8億円
連結	売上収益	1,703	<b>1,669</b>	▲2%
	営業利益	124	<b>190</b>	+66億円

ヘルスケア事業を除く全セグメントで前年比増益

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除

単位：億円	18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	909	791	▲118
営業利益	76	124	+48
売上収益比	8.4%	15.7%	
レンズ交換式 デジタルカメラ	72万台	57万台	▲15万台
交換レンズ	108万本	89万本	▲19万本
コンパクト デジタルカメラ	77万台	43万台	▲34万台

### Q1前年比：

- MLの攻勢で縮小するDSLR市場の影響が顕著な中、発売後約1年となるD850は完成度の高さに対する評価が継続し、全地域で販売台数が計画を上回り、製品ミックスは改善
- 販売促進費等の計画以上の抑制、広告宣伝費繰延べも重なる

単位：億円	18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	552	590	+38
営業利益	131	141	+10
売上収益比	23.7%	23.9%	
FPD露光装置	21台	19台	▲2台
半導体露光装置 新品／中古	5/0台	3/4台	▲2/+4台

### Q1前年比：

- FPD装置事業は、中小型パネル向け装置の販売台数減を、10.5世代装置をはじめとする高単価の大型パネル向け装置の販売台数増でカバーし、増収増益
- 半導体装置事業は、ArF液浸露光装置の台数減により減収となったものの計画通り進捗

単位：億円	18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	110	133	+23
営業利益	▲20	▲21	▲1
売上収益比	▲18.2%	▲15.8%	

### Q1前年比：

- 生物顕微鏡が米州、欧州、中国などの主要市場で売上を伸ばし大幅増収、網膜画像診断機器は主力の米国検眼医市場を中心に堅調に推移
- 網膜診断システムや再生医療関連への戦略投資を強化している為、事業の赤字幅は横ばい

単位：億円	18年3月期 Q1実績	19年3月期 Q1実績	前年 実績比
売上収益	131	154	+23
営業利益	▲6	11	+17
売上収益比	▲4.6%	7.1%	

### Q1前年比：

- 産業機器は、画像測定システムやX線検査装置など、検査機器全般の好調により増収
- その他の事業も大型フォトマスクや光学式エンコーダ等のビジネスが堅調に推移し、セグメント全体の増収増益に貢献

2019年3月期  
上期見通し

- **全社の売上収益を80億円下方修正するが、営業利益を20億円、当期利益を20億円それぞれ上方修正**
  - **映像事業**：Q1実績を踏まえ、営業利益を40億円上方修正
  - **精機事業**：FPDおよび半導体露光装置の据付完了が一部下期にずれ込むため、売上収益を80億円、営業利益を30億円下方修正
  - **産業機器・その他**：Q1実績を踏まえ、営業利益を10億円上方修正

2019年3月期  
通期見通し

- **全社の営業利益を40億円、当期利益を30億円上方修正**
  - **映像事業**：営業利益を40億円上方修正（下期据え置き）前年比約1割の減収の中、約1割の増益を見込む
  - **精機事業**：通期見通しは変わらず
  - **産業機器・その他**：通期見通しは変わらず

# 2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	18年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
<b>売上収益</b>	7,170	<b>7,400</b>	<b>7,400</b>	+230	±0
<b>営業利益</b>	562	<b>700</b>	<b>740</b>	+178	+40
売上収益比	7.8%	9.5%	10.0%		
<b>税引前利益</b>	562	<b>700</b>	<b>760</b>	+198	+60
売上収益比	7.8%	9.5%	10.3%		
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	347	<b>500</b>	<b>530</b>	+183	+30
売上収益比	4.8%	6.8%	7.2%		
<b>FCF</b>	902	<b>600</b>	<b>600</b>	▲302	±0
<b>為替：USドル</b>	111円	<b>105円</b>	<b>106円</b>	売上収益への予想影響額 約▲120   約+24	
<b>ユーロ</b>	130円	<b>130円</b>	<b>130円</b>	営業利益への予想影響額 約▲20   ほぼゼロ	

当期利益は前年比5割増、年間配当は18円増配の54円（中間配当27円）

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約70億円の控除後の金額

# 2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績

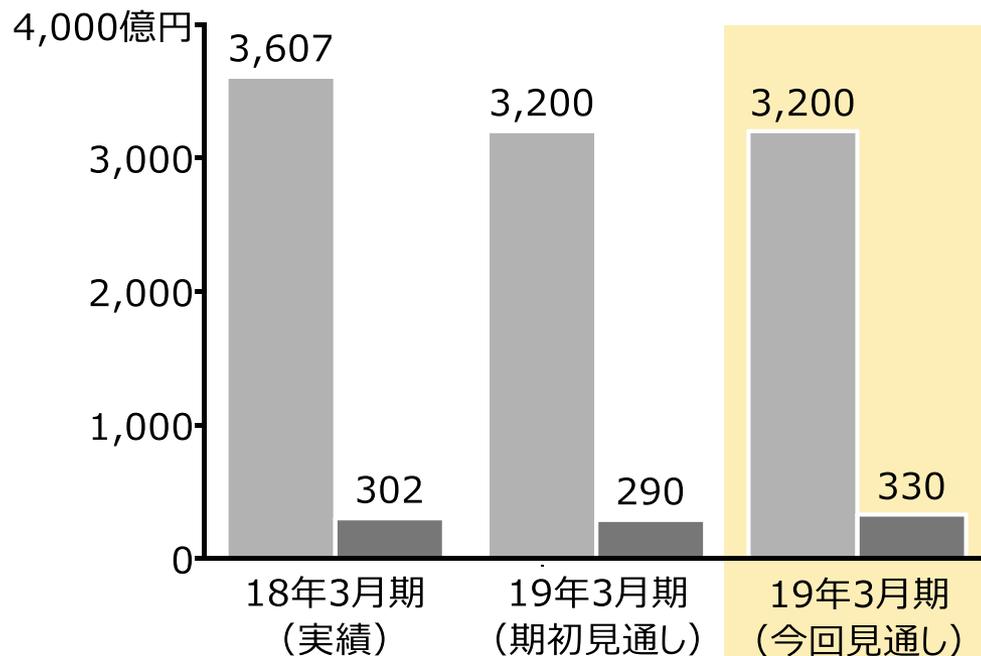


単位：億円		18年3月期 実績	前回予想 (期初時点)	今回予想 (Q1時点)	前年 実績比	前回 予想比
映像事業	売上収益	3,607	3,200	3,200	▲11.3%	±0%
	営業利益	302 (360)	290 (310)	330 (340)	+28億円	+40億円
精機事業	売上収益	2,263	2,820	2,820	+24.6%	±0%
	営業利益	533 (533)	680 (680)	680 (680)	+147億円	±0億円
ヘルスケア事業	売上収益	568	630	630	+10.9%	±0%
	営業利益	▲32 (▲32)	▲40 (▲40)	▲40 (▲40)	▲8億円	±0億円
産業機器・その他	売上収益	732	750	750	+2.5%	±0%
	営業利益	50 (78)	60 (60)	60 (60)	+10億円	±0億円
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	-	-	-	-	-
	営業利益	▲291 (▲291)	▲290 (▲290)	▲290 (▲290)	+1億円	±0億円
連結	売上収益	7,170	7,400	7,400	+3.2%	±0%
	営業利益	562 (649)	700 (720)	740 (750)	+178億円	+40億円

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約70億円の控除後の金額  
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## レンズ交換式デジタルカメラ (万台)

市場規模	1,141	1,000	1,000
ニコン	262	230	230

## 交換レンズ (万本)

市場規模	1,906	1,650	1,650
ニコン	401	340	340

## コンパクトデジタルカメラ (万台)

市場規模	1,196	900	800
ニコン	251	180	170

### ● 売上収益：前回予想据え置き 407億円の減収

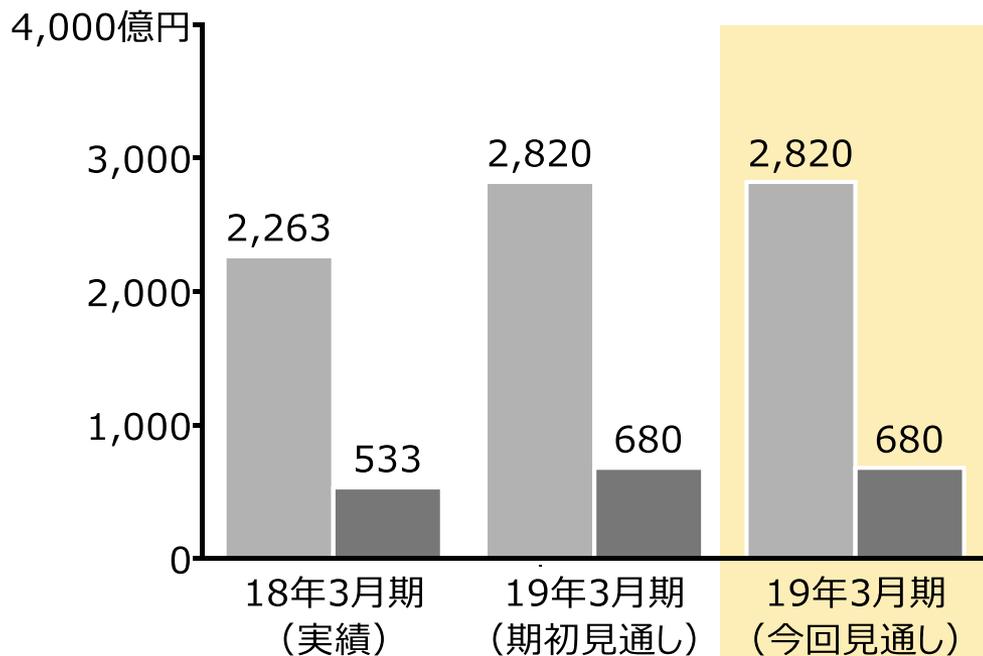
- 前回予想比、コンパクトカメラをはじめとする販売台数見直しによる減収影響は、一眼レフカメラの製品ミックス改善による増収でほぼ相殺

### ● 営業利益：40億円上方修正 28億円増益

- 2018年3月期/2019年3月期営業利益は、それぞれ360億円/340億円（構造改革関連費用控除前）
- 前回予想比、上期30億円収益増に加え、構造改革関連費用が10億円減少したことにより、40億円上方修正

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## FPD露光装置販売台数 (台)

市場規模 (CY17/18)	149	150	150
ニコン	67	70	70

## 半導体露光装置販売台数 (新品/中古、台)

市場規模 (CY17/18)	240	260	260
ニコン	17/13	23/12	23/12

### ● 売上収益：前回予想据え置き 557億円増収

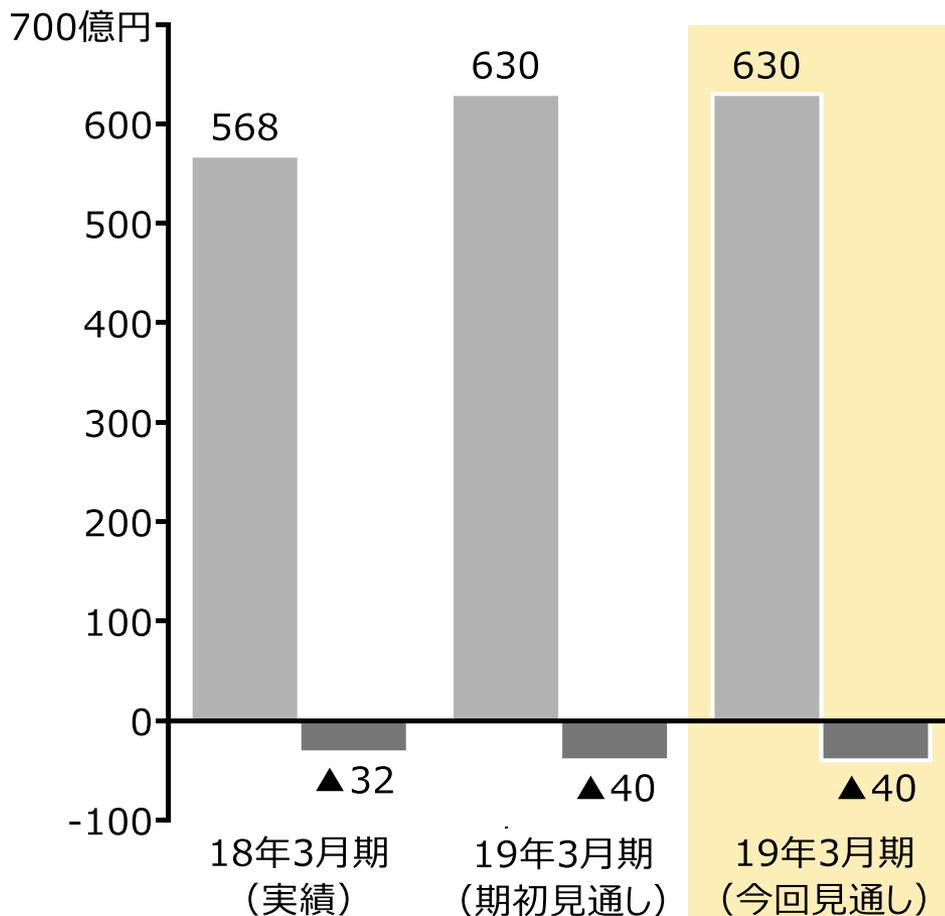
- FPD：10.5世代装置が伸長  
中小型パネル向け装置減少を  
大型パネル向け装置増加の効果が  
大幅に上回る
  - ▶ 10.5世代装置は前年の3台  
から18台に大幅増加
- 半導体：顧客の設備投資が  
堅調に推移し、販売台数増加

### ● 営業利益：前回予想据え置き 147億円増益

- FPD：大幅な増収増益
- 半導体：2期連続の黒字化で  
黒字体質が定着

売上収益・営業利益

■売上収益 ■営業利益



## ● 売上収益：前回予想据え置き 62億円増収

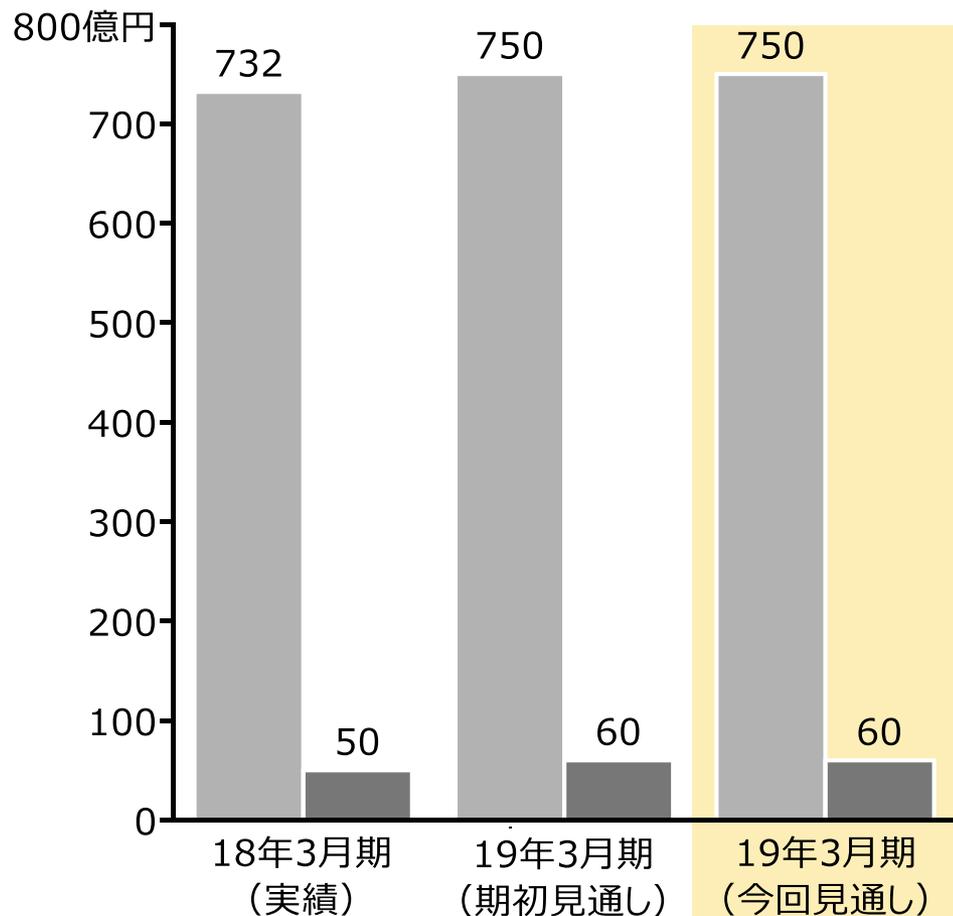
- バイオサイエンス分野：北米・中国を中心に海外の市況好転により、増収を見込む
- 眼科診断分野：網膜画像診断機器市場は堅調に推移。新製品の投入も寄与し、増収を見込む

## ● 営業利益：前回予想据え置き

- 網膜診断システムや再生医療関連でのビジネス拡大に向けた投資継続

売上収益・営業利益

■ 売上収益 ■ 営業利益



● **売上収益：前回予想据え置き  
18億円増収**

- 産業機器：CMM事業譲渡に伴う減収を画像測定システムやX線検査装置等の販売拡大でカバー

● **営業利益：前回予想据え置き  
10億円増益**

- 2018年3月期営業利益は78億円（構造改革関連費用控除前）
- コンポーネント事業等、中長期の利益成長に向けて、育成・投資を強化する事業の選別を加速



**NIKON CORPORATION**

# 參考資料

# 2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	前回予想			今回予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	3,400	4,000	7,400	<b>3,320</b>	<b>4,080</b>	<b>7,400</b>
<b>営業利益</b>	250	450	700	<b>270</b>	<b>470</b>	<b>740</b>
売上収益比	7.4%	11.3%	9.5%	<b>8.1%</b>	<b>11.5%</b>	<b>10.0%</b>
<b>税引前利益</b>	250	450	700	<b>280</b>	<b>480</b>	<b>760</b>
売上収益比	7.4%	11.3%	9.5%	<b>8.4%</b>	<b>11.8%</b>	<b>10.3%</b>
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	170	330	500	<b>190</b>	<b>340</b>	<b>530</b>
売上収益比	5.0%	8.3%	6.8%	<b>5.7%</b>	<b>8.3%</b>	<b>7.2%</b>
<b>FCF</b>	600			<b>600</b>		
為替：USドル	105円	105円	105円	<b>107円</b>	<b>105円</b>	<b>106円</b>
ユーロ	130円	130円	130円	<b>130円</b>	<b>130円</b>	<b>130円</b>

# 2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績



単位：億円		前回予想			今回予想		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	1,500	1,700	3,200	<b>1,500</b>	<b>1,700</b>	<b>3,200</b>
	営業利益	110 (130)	180 (180)	290 (310)	<b>150</b> <b>(160)</b>	<b>180</b> <b>(180)</b>	<b>330</b> <b>(340)</b>
精機事業	売上収益	1,320	1,500	2,820	<b>1,240</b>	<b>1,580</b>	<b>2,820</b>
	営業利益	330 (330)	350 (350)	680 (680)	<b>300</b> <b>(300)</b>	<b>380</b> <b>(380)</b>	<b>680</b> <b>(680)</b>
ヘルスケア事業	売上収益	260	370	630	<b>260</b>	<b>370</b>	<b>630</b>
	営業利益	▲50 (▲50)	10 (10)	▲40 (▲40)	<b>▲50</b> <b>(▲50)</b>	<b>10</b> <b>(10)</b>	<b>▲40</b> <b>(▲40)</b>
産業機器・その他	売上収益	320	430	750	<b>320</b>	<b>430</b>	<b>750</b>
	営業利益	10 (10)	50 (50)	60 (60)	<b>20</b> <b>(20)</b>	<b>40</b> <b>(40)</b>	<b>60</b> <b>(60)</b>
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲150 (▲150)	▲140 (▲140)	▲290 (▲290)	<b>▲150</b> <b>(▲150)</b>	<b>▲140</b> <b>(▲140)</b>	<b>▲290</b> <b>(▲290)</b>
連結	売上収益	3,400	4,000	7,400	<b>3,320</b>	<b>4,080</b>	<b>7,400</b>
	営業利益	250 (270)	450 (450)	700 (720)	<b>270</b> <b>(280)</b>	<b>470</b> <b>(470)</b>	<b>740</b> <b>(750)</b>

注：営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

# 2019年3月期 通期見通し：連結売上収益・損益



単位：億円	17年3月期	18年3月期			19年3月期見通し		
	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>売上収益</b>	7,492	3,284	3,886	7,170	<b>3,320</b>	<b>4,080</b>	<b>7,400</b>
<b>営業利益</b>	7	230	332	562	<b>270</b>	<b>470</b>	<b>740</b>
売上収益比	0.1%	7.0%	8.5%	7.8%	<b>8.1%</b>	<b>11.5%</b>	<b>10.0%</b>
<b>税引前利益</b>	30	214	348	562	<b>280</b>	<b>480</b>	<b>760</b>
売上収益比	0.4%	6.5%	9.0%	7.8%	<b>8.4%</b>	<b>11.8%</b>	<b>10.3%</b>
<b>当期利益</b> (親会社の所有者に帰属)	39	139	208	347	<b>190</b>	<b>340</b>	<b>530</b>
売上収益比	0.5%	4.2%	5.4%	4.8%	<b>5.7%</b>	<b>8.3%</b>	<b>7.2%</b>
<b>FCF</b>	566	902			600		
為替：USDドル	108円	111円	111円	111円	<b>107円</b>	<b>105円</b>	<b>106円</b>
ユーロ	119円	126円	133円	130円	<b>130円</b>	<b>130円</b>	<b>130円</b>

# 2019年3月期 通期見通し：セグメント別業績

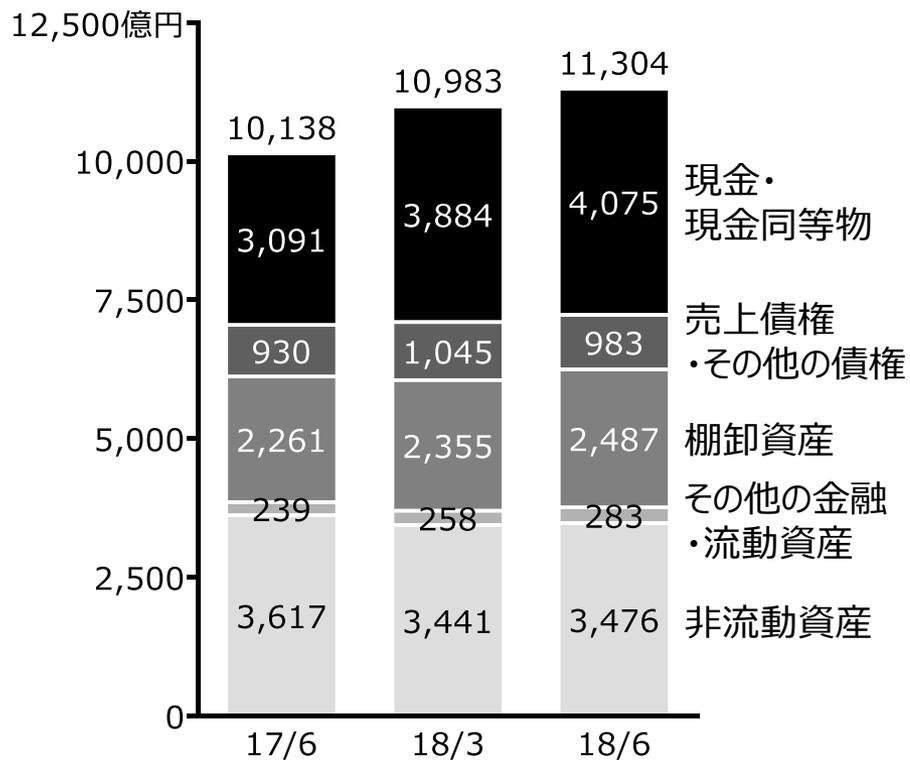


単位：億円

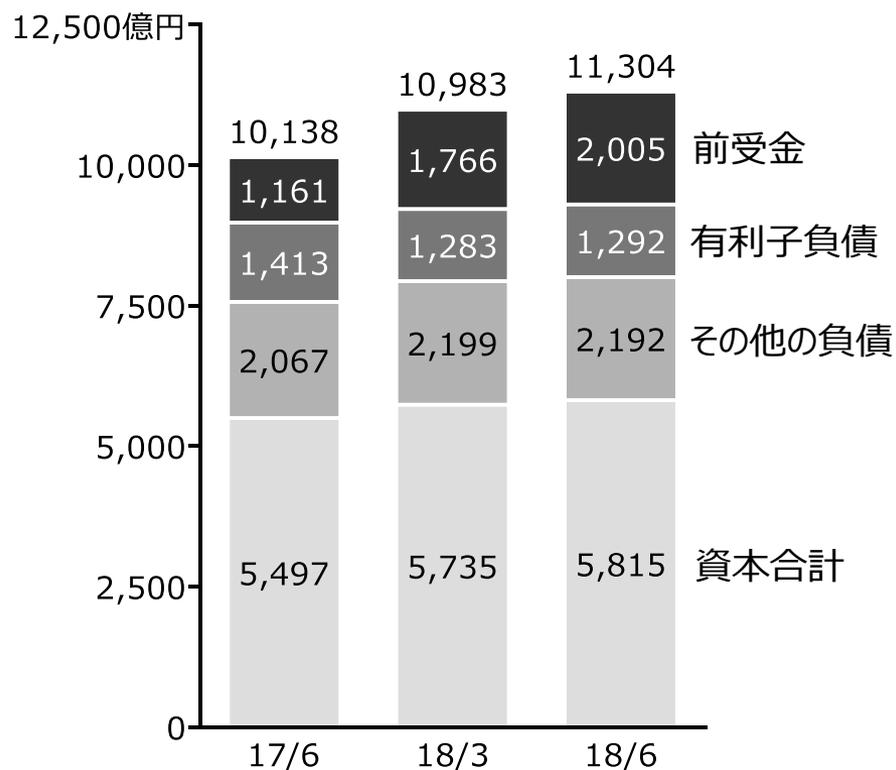
		17年3月期		18年3月期		19年3月期見通し		
		通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
映像事業	売上収益	3,830	1,752	1,855	3,607	<b>1,500</b>	<b>1,700</b>	<b>3,200</b>
	営業利益	171 (281)	154 (154)	148 (206)	302 (360)	<b>150</b> <b>(160)</b>	<b>180</b> <b>(180)</b>	<b>330</b> <b>(340)</b>
精機事業	売上収益	2,480	980	1,283	2,263	<b>1,240</b>	<b>1,580</b>	<b>2,820</b>
	営業利益	134 (481)	201 (201)	332 (332)	533 (533)	<b>300</b> <b>(300)</b>	<b>380</b> <b>(380)</b>	<b>680</b> <b>(680)</b>
ヘルスケア事業	売上収益	557	252	316	568	<b>260</b>	<b>370</b>	<b>630</b>
	営業利益	▲6 (▲1)	▲21 (▲21)	▲11 (▲11)	▲32 (▲32)	<b>▲50</b> <b>(▲50)</b>	<b>10</b> <b>(10)</b>	<b>▲40</b> <b>(▲40)</b>
産業機器・その他	売上収益	624	298	434	732	<b>320</b>	<b>430</b>	<b>750</b>
	営業利益	37 (55)	15 (15)	35 (63)	50 (78)	<b>20</b> <b>(20)</b>	<b>40</b> <b>(40)</b>	<b>60</b> <b>(60)</b>
各セグメントに配賦 されない全社損益	売上収益	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	▲328 (▲275)	▲119 (▲119)	▲172 (▲172)	▲291 (▲291)	<b>▲150</b> <b>(▲150)</b>	<b>▲140</b> <b>(▲140)</b>	<b>▲290</b> <b>(▲290)</b>
連結	売上収益	7,492	3,284	3,886	7,170	<b>3,320</b>	<b>4,080</b>	<b>7,400</b>
	営業利益	7 (541)	230 (230)	332 (419)	562 (649)	<b>270</b> <b>(280)</b>	<b>470</b> <b>(470)</b>	<b>740</b> <b>(750)</b>

注：19年3月期からは、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部を売上収益から控除。19年3月期見通しの売上収益は約70億円の控除後の金額  
営業利益の（ ）内数値は、構造改革関連費用を除いた値

## 資産



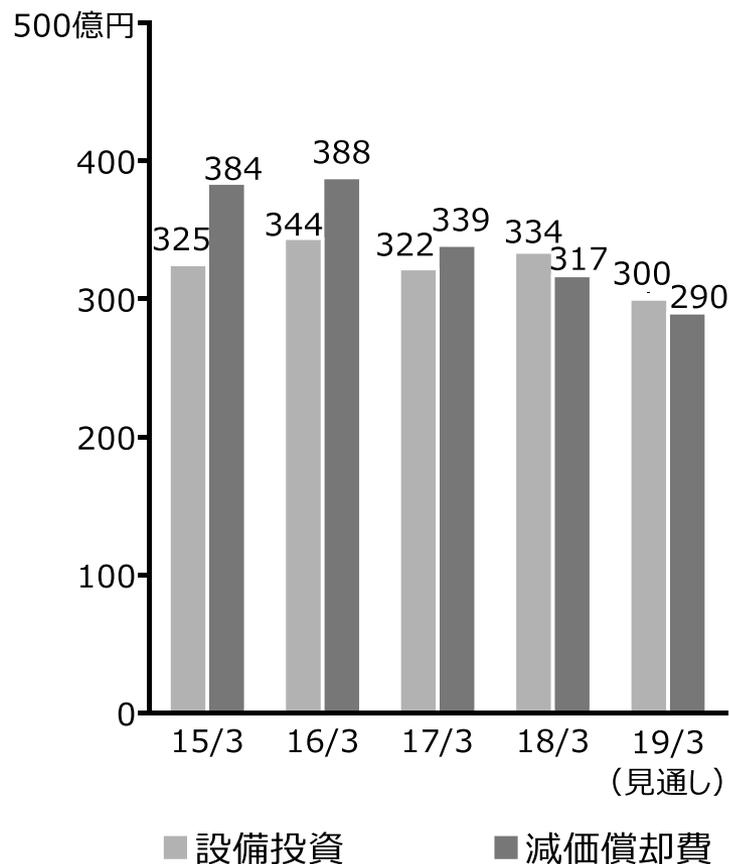
## 負債・資本



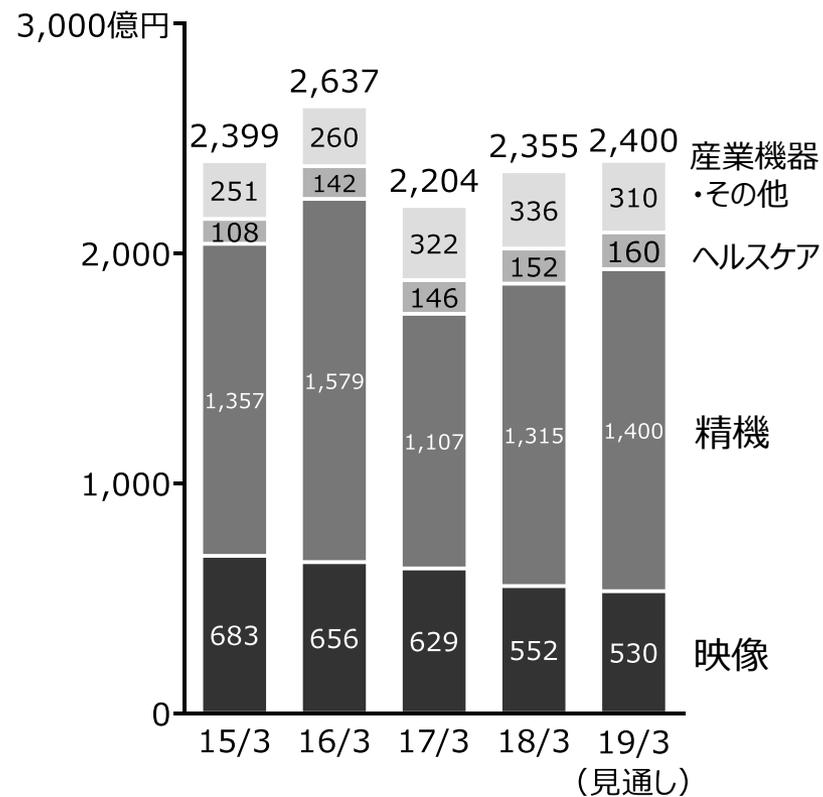
自己資本比率 54.2% 52.2% 51.4%

注：自己資本比率＝親会社所有者帰属持分比率。現金・現金同等物には3ヶ月超の定期預金残高を含めず表示

## 設備投資・減価償却費

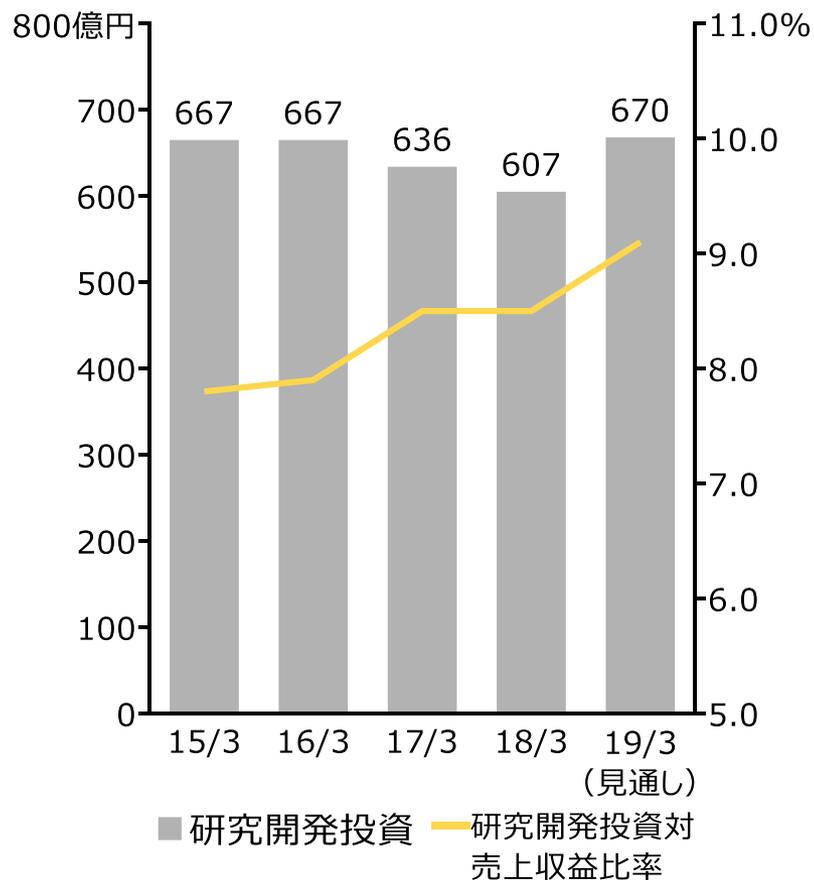


## 棚卸資産

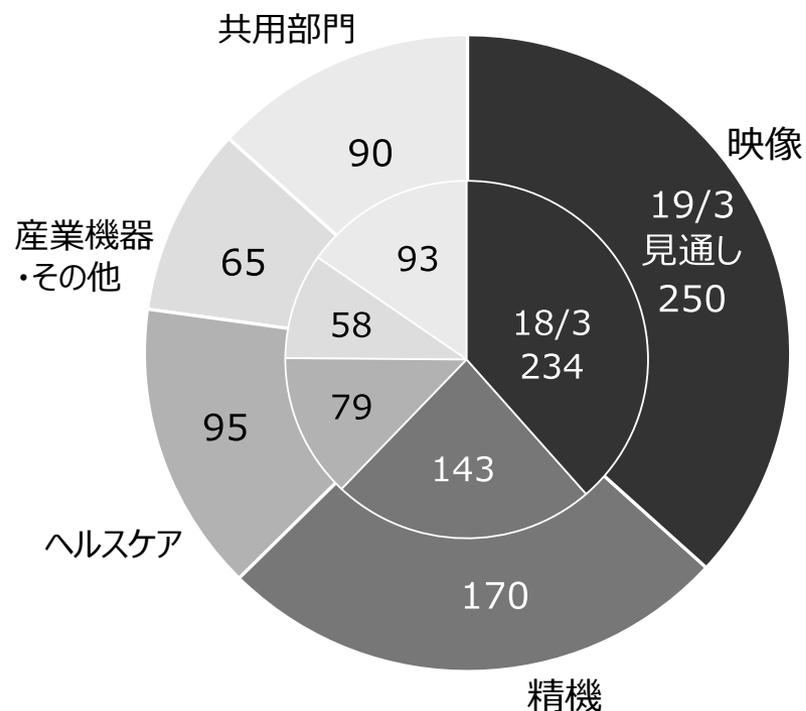


注：2015年3月期は日本基準、2016年3月期以降は国際会計基準（IFRS）で表示  
 「減価償却費」の2017年3月期以降は仕掛開発費の償却も含めて表示、「棚卸資産」の2016年3月期以前は現セグメントに基づく組替表示

## 研究開発投資

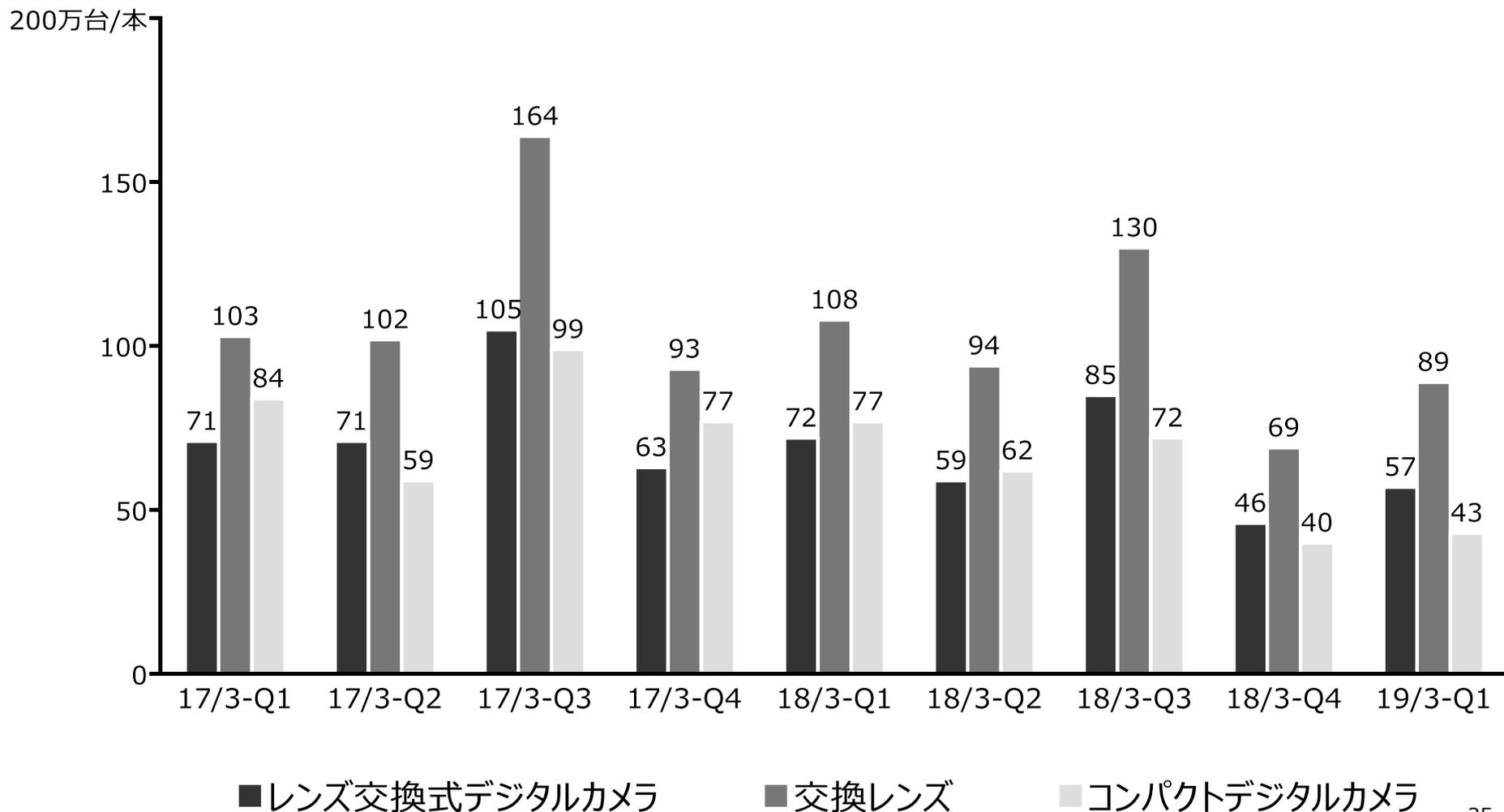


## 研究開発投資内訳

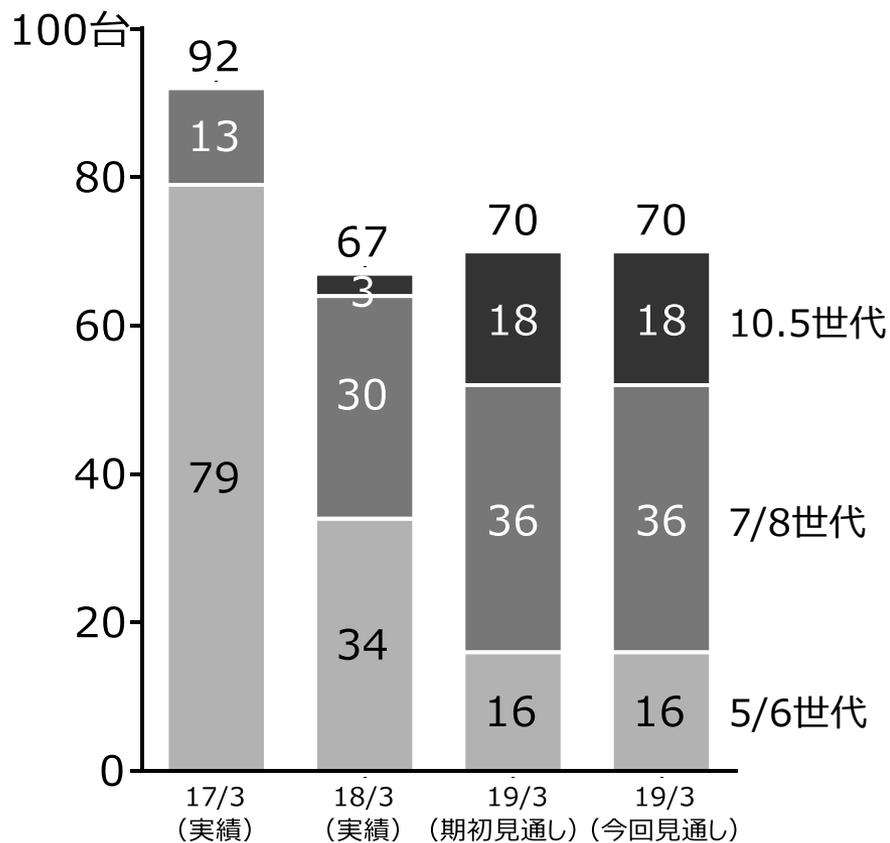


注：「研究開発投資」には、2017年3月期以降に行っている開発投資の一部資産化も含めて表示。前期セグメント変更を踏まえて、内訳は2期分のみ表示

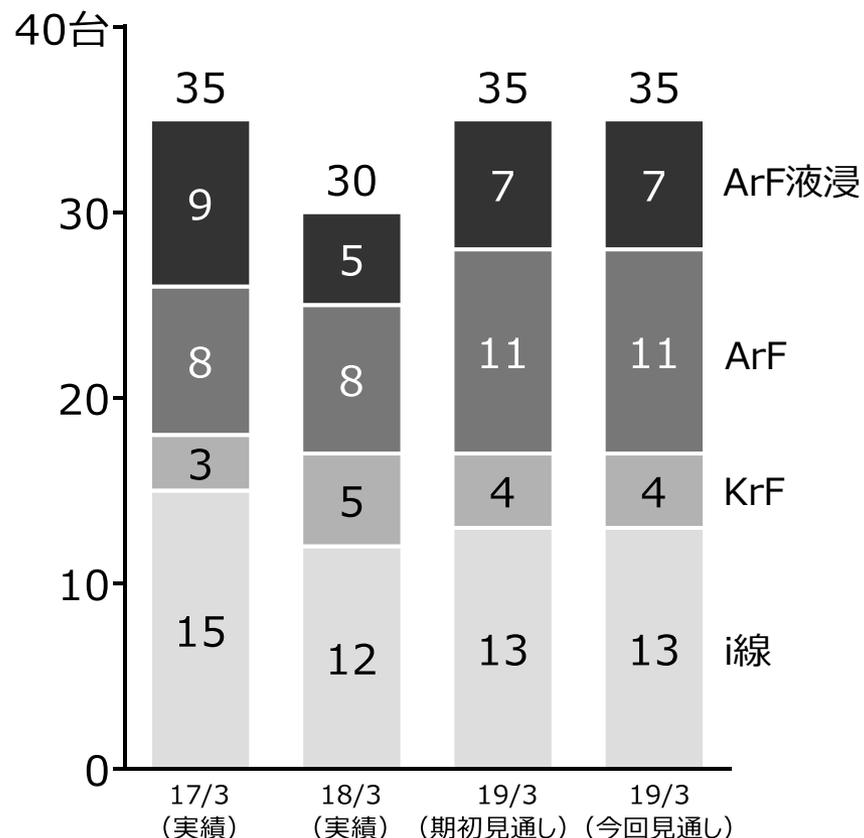
## 製品カテゴリー別販売台数



### FPD露光装置世代別販売台数

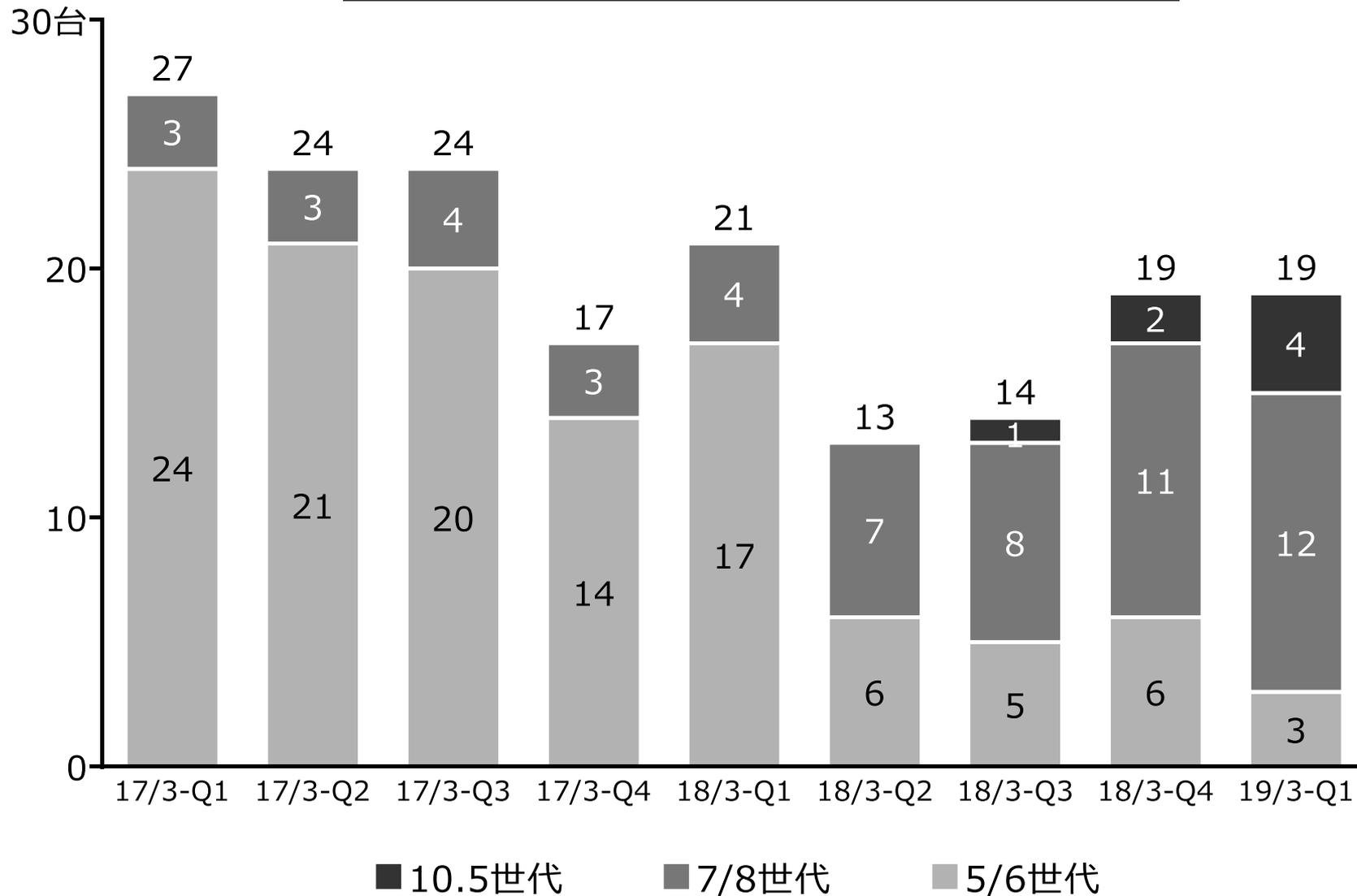


### 半導体露光装置光源別販売台数 (中古含む)

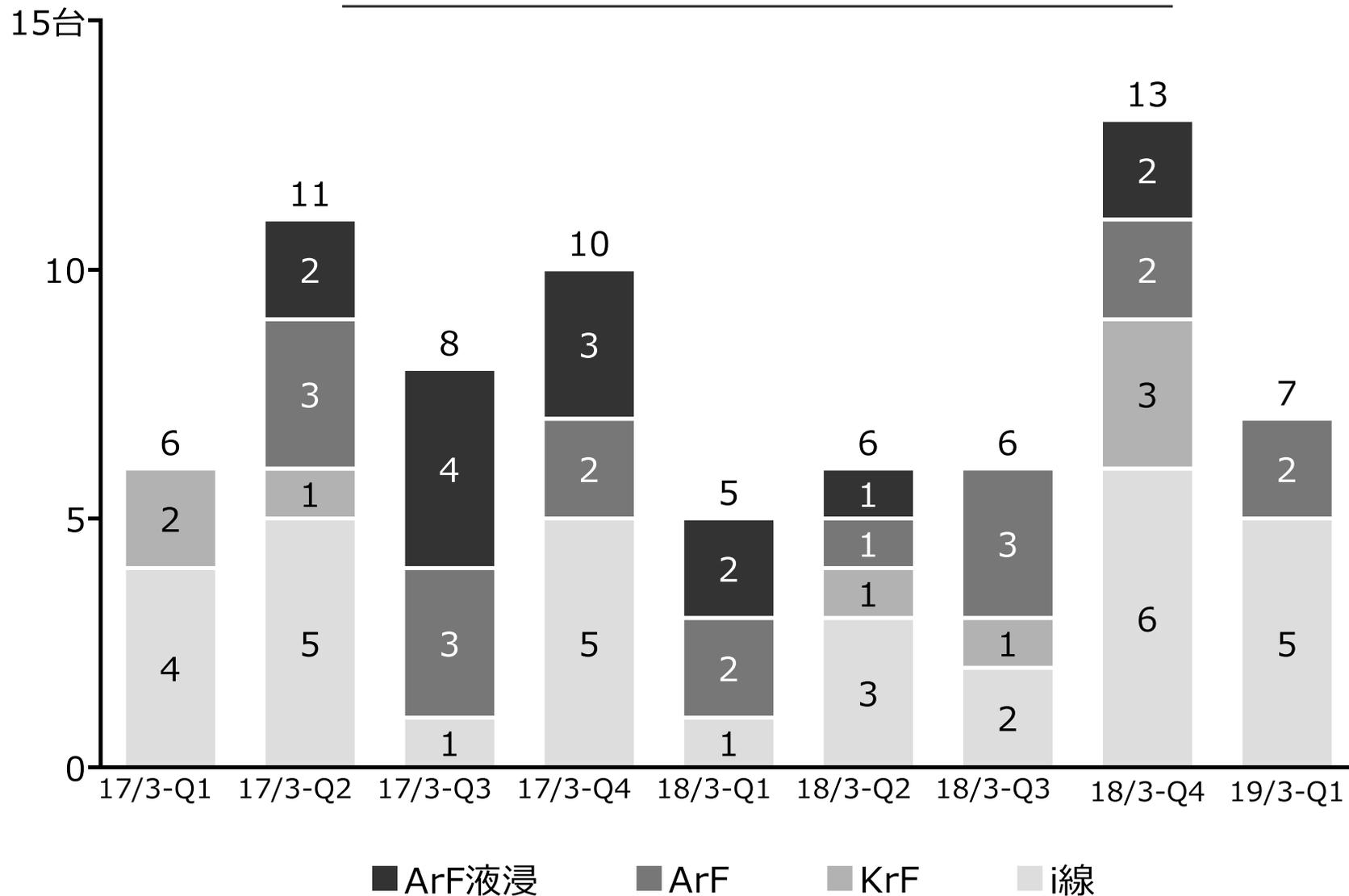


注：半導体露光装置の新品の台数は、2017年3月期は24台、2018年3月期は17台、2019年3月期は23台

FPD露光装置世代別販売台数



半導体露光装置光源別販売台数（中古含む）



	為替レート	1円の変動による影響額	
	19年3月期 Q2~Q4前提	売上収益 Q2~Q4	営業利益 Q2~Q4
USドル	105円	約21億円	約2億円
ユーロ	130円	約6億円	約3億円



**NIKON CORPORATION**